

首都圏本部

東京建設プロジェクトマネジメントオフィス

鉄道クレーン車施工による 我孫子駅構内分岐器弾性化工事を実施

東京建設プロジェクトマネジメントオフィスは7月5日夜、東京保線設備技術センター 我孫子保線センターと共同で、我孫子駅構内で鉄道クレーン車を使用した分岐器弾性化工事を実施しました。当オフィスでは、首都圏本部をはじめ各支社と連携した保線関係のプロジェクトに積極的に参画しており、その経験で得た知見を活かし、今回の工事でも短時間の施工の実施に向けて、3D視覚化資料や点群データを活用しました。



横浜支社

経営幹部を対象とした「朝活」を実施中

横浜支社のDX推進PTでは2023年10月より、支社長をはじめとする経営幹部などを対象に、デジタルスキル向上を目的とした「朝活」を開催しています。これまでの計14回の朝活では、Power Platformアプリ解説のほか、実際にアプリを使用して業務自動化のフロー構築やデータ分析を行ってきました。「朝活」で得たスキルは経営幹部から社員へ共有を図るなど、支社全体でDX推進に取り組んでいます。



八王子支社

五日市線開業100周年を記念しイベントを開催

4月26日、五日市線開業100周年を記念したイベントの第1弾として『「五日市線 100th Anniversary」1st stage』を開催しました。ヘッドマークを取り付けたラッピング列車の出発式を実施したほか、救急車、パトカー、バスといった「はたらく乗り物」の展示、ミニ新幹線の運転を行い、イベントを活気づけました。引き続き、「いつかいちどは来てほしい。ほんとはいつも来てほしい。」をキャッチフレーズに100周年を盛り上げていきます。



大宮支社

「充電！烏山線プロレス」イベントを開催

5月31日、宇都宮統括センターと「栃木プロレス」が連携し、烏山線車内でプロレスの試合観戦が楽しめるイベント列車「充電！烏山線プロレス号」を運行しました。大宮支社によるプロレス列車イベントは初開催となり、迫力ある試合が繰り広げられました。宇都宮駅到着後はトークショーやじゃんけん抽選会、写真撮影が行われ、多くのお客さまから好評をいただきました。



高崎支社

「ソース×リョーモー」ソースサミットを開催

5月31日、沿線のソースグルメを集結したイベント「ソースサミット」を伊勢崎駅南口駅前広場で開催しました。前橋統括センターでは、両毛線沿線に根付くソース文化に着目し「ソース×リョーモー」として沿線ブランディングを図っています。イベントでは沿線7市の市長によるソースグルメ自慢やソースサミット宣言を実施し、ソース文化の魅力を発信しました。



水戸支社

「ふくしままんぷくトレイン」を運行

4月5日、ふくしまプレデスティネーションキャンペーンの特別企画として、福島名物の国見バーガーやなみえ焼きそばなど15種類のご当地グルメを振る舞うイベント列車を運行しました。もえの あずきさんがゲストとして登場したほか、郡山・福島・岩沼・原ノ町・いわき各駅でのおもてなしでお客さまの心もお腹まんぷくにする事ができました。



千葉支社

内房線で昼間帯に集中工事を実施

5月13～15日、内房線館山～安房鴨川間で、昼間帯の列車を運休し、支障樹木の伐採やレール交換、ホーム屋根などの修繕、各種設備の検査・点検などの集中工事を実施しました。建設業における作業員の確保が課題となる中、労働環境の改善、保守作業の効率化を推進し、安全性の向上と設備の維持・更新、サステナブルな鉄道事業運営をめざします。



長野支社

「地域に笑顔を！信州を元気に！」 新たなキャッチフレーズとロゴが誕生

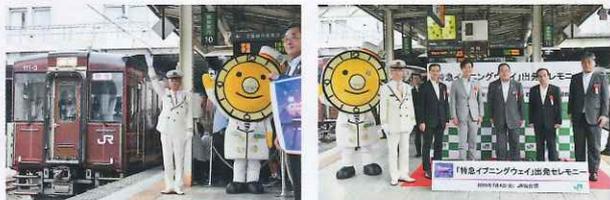
7月3日、長野支社では地域に根ざした取組みを表現する新たなキャッチフレーズとロゴを策定しました。当支社は、当社主催・共催の地域イベントや駅・線区の周年セレモニーなど、地域の皆さまと信州を盛り上げる取組みを継続的に行っています。この活動を多くの方に親しみを込めて伝えるために、キャッチフレーズとロゴを当支社の全社員から公募し、審査を経て選定しました。今後は地域イベントや広報物など、さまざまな場面で活用し、地域とのつながりをさらに深めていきます。



東北本部

特急「イブニングウェイ」出発セレモニーを開催

7月4日、東北線仙台～小牛田・石越間を毎週金曜の帰宅時間帯に運行する特急「イブニングウェイ」の出発セレモニーを開催しました。仙台駅オリジナルキャラクター「トキムネくん」によるお見送りや、仙台統括センター所長の出発合図による出発式を実施し、運行開始を盛り上げました。また沿線自治体から首長を含む5名の関係者に参列いただき、地域の皆さまと連携して新たな列車のスタートを迎えました。



盛岡支社

津軽線に関する基本合意書を締結

6月10日、今別町・外ヶ浜町・青森県・当支社の4者は、津軽線の蟹田～三厩間の鉄道廃止と自動車交通への転換に関する基本合意書を締結しました。今後、NPO法人を設立し、2027年4月1日から新しい自動車交通として運行予定です。地域に密着した利便性が高く持続的な地域交通の確保に向けて、取組んでいきます。



秋田支社

カシオペア記念ツアーで特別な体験を提供

5月15・31日出発分の「カシオペア運行開始25周年YEAR」記念ツアーで、秋田統括センターが中心となって特別なおもてなしを提供しました。カシオペア車内では迫力ある「なまはげ」の練り歩き、同センター内では運転シミュレーター・POS端末などを使った乗務員体験や、車両古物販売も実施しました。ツアーは両日とも完売し、200名を超えるお客さまに、特別な秋田の旅を楽しんでいただきました。



新潟支社

社員発意による 新たな補修テープ材料の開発・導入

5月21日、新潟土木設備技術センターとリンレイテープ(株)が共同で、設備補修用の新しいテープ材料「ファーストリペア」を現場第一線における技術開発として開発・導入しました。特許出願中の新たな接着工法により、濡れた箇所や気温が低い環境、また凹凸のある面でも使用できます。現在は(株)保安サプライで販売中です。



「MATSURI JAPAN 2025」を TAKANAWA GATEWAY CITYで開催



6月28～29日、総合プロデュース企業(株)八芳園による「MATSURI JAPAN 2025」が開かれました。同社が港区にある縁などからTAKANAWA GATEWAY CITYのまちびらきを祝う形で開催が実現。当日は、YOSAKOIソーラン祭り、高輪地区まつりなど各地の祭りで活躍する祭りパフォーマーたちがパフォーマンスを披露したほか、八芳園シェフが「祭り」をテーマにした新しい郷土料理を振る舞い、参加者を魅了しました。

「こまち」で秋田県産米を輸送し、東京駅で販売



6月23日、荷物輸送サービス「はこビュン」を活用し、2024年産の「あきたこまち」を東京駅イベントスペース「スクエア ゼロ」で販売しました。秋田発6時9分の「こまち6号」で輸送し、JRE MALLで事前予約・決済されたお客さまに「あきたこまち」5kgをお渡ししたほか、2kgを先着順で販売しました。当日は喜勢社長と小泉農林水産大臣も会場を訪れ、大きな注目を集めました。

千手発電所更新完成記念式典を実施



5月26日、当社信濃川発電所の千手発電所において、発電機の更新完成を祝う式典と安定稼働を祈念する神事が執り行われました。当発電所は1939年に運転を開始し、今年4月28日に新しい5号発電機が運転を開始したことで、対象である4機すべての更新が完了しました。式典には、十日町市長や工事関係各社のほか、喜勢社長も参加し、運転開始を祝いました。

資材調達業務の取組みに対して感謝状を贈呈



6月10日、2024年度の資材調達業務の取組みに対する感謝状贈呈式を行いました。贈呈式では、調達コストの適正化や業務効率化などの顕著な成果を挙げた(株)JR東日本商事 本社の諸用品・制服・機械グループ、車両グループおよび電気グループへ、酒井財務・投資計画部門長より感謝状と記念品を贈呈しました。

JES-Net・SQネットワーク合同社長会を開催



6月16日、JES-Net (JR東日本安全ネットワーク)・SQ (Service Quality) ネットワーク合同社長会が開催され、喜勢社長をはじめとする関係役員、そして両ネットワーク加盟84社の社長が出席しました。内田常務取締役と木村常務執行役員より、JR東日本グループが推進する二軸経営の基盤の源である、安全とサービスの現状と方針について紹介しました。

令和6年度土木学会賞各賞を受賞



6月13日、公益社団法人 土木学会において優れた土木技術などを表彰する令和6年度土木学会賞の授与式が開催されました。土木工学または土木事業への著しい貢献が認められ、技術賞をはじめ、JR東日本グループなどから複数のプロジェクト・個人の方が受賞しました。また、8月20日に喜勢社長に受賞の報告を行いました。